



令和7年10月号 VOL.91
情報メディア教育センター

暑い日々が長く続きましたが、順調に日は短くなってきましたネ。読書にぴったりの季節。秋、本との出会いを楽しんでみませんか？本の選び方、読み方は人によって様々。気分で、映画化など話題、ジャケ買い、書店のポップから、著者からなど。読み方も、一冊をじっくり、何冊か同時進行、気分によって積読(つんどく)し別の本に。また図書館で借りる、電子図書を買う借りる、下記の通り聴く読書もあります。自分に合った方法を見つけしていくのも楽しそう。



(@emc_szk) • Instagram



—小説『国宝』は—

耳で聴くのがイイ！

”本は、読むもの”ですが。。。スマホやPCで本を“耳で聴く”サービスがあります(スマホなど使用して、Audibleやaudiobookなどで)。今回、映画で話題の『国宝』を聴いてみたら……これが、めちゃくちゃ良かった！

💡 声で物語が生きる

朗読は、龍角散CMでおなじみ歌舞伎役者8代目尾上菊五郎氏。様々な年齢の登場人物、歌舞伎の台詞まわしや女形を、もちろん一人で声色を変えて演じ分ける。淡々と読まれる説明とセリフ部分の差がくっきり違い、聴き進めるほどジワジワ演技に引き込まれていく。その声の凄みが、要は、鳥肌モノ！再生時間は20時間越えですが、声に聞き惚れ、すっかり菊五郎さんの“声推し”です。

🎭 ”歌舞伎に触れる”

映画を観ずとも、小説を読まずとも、古典芸能に馴染みがなくても。”ほんまもん”の歌舞伎の声色と演技が、肌に伝わってきます。感情や緊張感、表情や舞いまでが見えるような圧倒的な臨場感を味わえ、まるで生で舞台観劇しているかのよう。舞う姿や歌舞伎を生で観たくなりますヨ。



🎧 『国宝』の魅力

戦後日本の伝統芸の世界が美しく表現されている。主役二人は失敗や挫折も多い中、もがきながらも一貫して歌舞伎に魅せられている姿がせつなく苦しくて良い。独特の芸の世界観や時代設定は、今の現実とは違いが多く理解が難しい部分もあるが、美しさが表現されつくされている芸の部分と、個性と人間臭さがあふれている登場人物ばかりで、楽しく読み進めてしまう。

📖 『国宝』とは？

生い立ちの違う二人の青年が、芸に人生をかけて共に成長していく姿が描かれた物語。3年間黒衣として舞台裏から取材をした著者が色濃く描いた作品。



『国宝』吉田修一/著
朝日新聞出版



新着図書ピックアップ



新着ピックアップは毎月、司書が「これは、ぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ【著】 日本経済新聞出版

帯に”神がいないこの国で”とあるので、重い・難解な内容かと想像しましたが、身近な内容が散りばめられ読み進め易かったです。悩める大学生、推し活女性、中年男性のそれぞれの話から始まります。”今のコトバやフツウ”、が内容に多々出てきましたが、図書館で生徒さんから見聞きしていることもあり読み進められ助かりました。集団心理や自己確立の模索、推し活を作っている側と推している側、物語に身をゆだね幸福を味わう様子など、読んだ人が各々の立場を通して考えさせられる内容でした。読み終わりは、重さと恐怖、そして社会斬ってるな～という爽快感が少しありました。”この本の視点、めちゃくちゃ鋭いってよ！”（大原）



『コールドムーン』

芥川なお【著】 すばる舎

前作『ストロベリームーン』は「令和イチ泣ける！」と去年、非常に話題になった小説。11月には、当真あみ、斎藤潤主演で映画が公開予定。こちらはその続編となります。内容は、前作の登場人物のその後、色々あった高校一年生の夏から高校卒業までが描かれています。前作との対比があるので（タイトルだったり、登場する花だったり）個人的には前作を読んでから、又は、映画を観てからの方が面白いのではないかなと思います。（ちなみに『ストロベリームーン』もEMCにあります）（矢田）

『わたしのマトカ』

片桐はいり【著】 幻冬舎

「かもめ食堂」という少し前の映画。日本人女性がフィンランドのヘルシンキで日本食の食堂を開店させます。最初は閑古鳥が鳴いていましたが、やがて地元住人で賑わう人気店となるというストーリーでした。この映画のロケでフィンランドに滞在した女優の片桐はいりさんが、1か月余りの日々を愉快地綴っています。一緒にフィンランドを旅しているような気分になる、そんなエッセイです。一度は行ってみたいと思っていた北欧の国々、何だかますます好きになりました。「マトカ」ってフィンランド語で「旅」という意味なんですね。（大塚）



EMCでは新着図書を「ブックログ」で紹介しています。

「ブックログ」トップページ ▶ カテゴリー ▶ 2025年9月新着

⇒<https://booklog.jp/users/suzukakyoeilib>

今月の新着本は 11月配架（貸出開始）予定です。



一周まわって読書が“だだくさ”になってきた

藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.83

『ザ・ロイヤルファミリー』 早見 和真【著】 新潮社



10月の 開館予定

10月		
1	水	8:10-17:50
2	木	8:10-17:50
3	金	8:10-17:50
4	土	休館
5	日	休館
6	月	8:10-17:50
7	火	8:10-18:50
8	水	8:10-18:50
9	木	8:10-18:50
10	金	8:10-18:50
11	土	休館
12	日	休館
13	月	休館
14	火	8:10-18:50
15	水	8:10-18:50
16	木	8:10-18:50
17	金	8:10-17:50
18	土	休館
19	日	休館
20	月	休館/館内整理
21	火	8:10-17:50
22	水	8:10-17:50
23	木	8:10-17:50
24	金	8:10-17:50
25	土	休館
26	日	休館
27	月	8:10-17:50
28	火	8:10-17:50
29	水	8:10-17:50
30	木	8:10-17:50
31	金	8:10-17:50

やっと、秋めいてきましたね。みなさんにとっての「〇〇の秋」は何ですか？

「読書の秋」でしょうか？それとも「食欲の秋」でしょうか？ちょっと不謹慎かもしれませんが私にとっての秋は「競馬の秋」です！！！！秋のG1戦線開幕です＼(へoへ)／競馬の秋到来の今回、司書さんにオススメしてもらった競馬の世界を舞台とした小説『ザ・ロイヤルファミリー』をご紹介します。まさか、競馬の小説があったとは…。しかも今月よりドラマ化されるようです。12日（日）より9時からCBCにて放送されます。

興味がある方はぜひ！

馬主に仕える秘書が主人公となった物語です。馬主という華やかな世界の裏側にあるのは、血統と誇りを背負った人々の「運命の物語」。人間の情熱、夢、葛藤、そして登場人物と家族の絆が、人が馬をつなぎ、そして馬が人をつないでゆく。競馬を知らない人にも響く熱い人間ドラマが詰まっています。

競走馬の勝敗の行方だけではなく、「夢を追いかける尊さ」が描かれています。夢を追いかける人たちの背中を押してくれる作品です。

競馬を知らない人も本書を通して競馬という競技の仕組みを知りながら読み進めることができます。競馬に魅了される人たちの気持ちを感じてもらえるのではないのでしょうか。個人的に競馬ファンが増えることは大歓迎です。

読み終えた後、競馬を一度観てみようかなって思った方、リアルな競馬は、10月中旬から12月下旬までほぼ毎週日曜日にG1と言われるもっとも強い馬達が出走する大きなレースが開催されます。（ちなみに、本書の馬主が夢見た有馬記念は12月28日（日）です。）気になる方は、日曜日の15時30分ごろに1チャンネルをつけてみてください。馬券は二十歳からなので、まずは推し馬を見つけて応援してみてもいいです。私は年末までガッツリ馬券勝負です！！ああ～いつか馬主になってみたいものです(*_*)競馬ファンにはもちろん、熱い人間ドラマを求める方におすすめです。



『ザ・ロイヤルファミリー』 早見 和真【著】 新潮社

HON
TO
EIGA
COLLECTION



第16回 古川 将史先生おすすめ

『タイムマシンのつくりかた』

ポール・デイヴィス【著】 林 一【翻訳】 草思社

本当に「タイムスリップ」はできるのか？ “1秒”は誰にとっても“1秒”ではないとしたら？アインシュタインが証明した「時空のゆがみ」を知ると、2つの時計にわずかなズレが生じる不思議な現象が、実はタイムスリップが可能である証拠だったとわかるのです。

この本を読めば、SFの中だけの話だと思っていたタイムスリップが、意外と現実的なものに思えてくるはず！みなさんも時空の謎に挑んでみませんか？

※お薦め本はリレー連載です。次のボタンはどなたに渡るかな？

2025 EMC BOOK HUNTING

みんなの推し本 118冊



EMCの夏と言えば「BOOK HUNTING」。3年間 図書委員になって毎年参加してくれた人もいくらい大人気企画です。今年も19名の皆さんが参加、名古屋の「丸善」で図書館に入りたい本を選んでくれました。選んだ本には皆さんがつくってくれた帯を付けて特集コーナーに並べています。帯の一部をご紹介しますねー

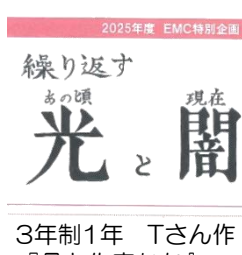


6年制2年 Mさん作『シャチまるごとBook』

「ギャング」から「天使」へレタリングの変化で魅せる帯
シャチもかわいく変身してます

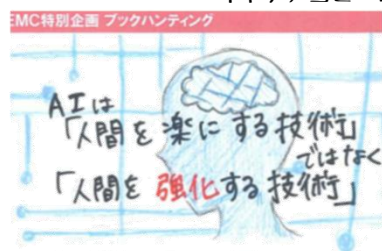


6年制5年 Kさん作
『幽世の薬剤師』



3年制1年 Tさん作
『骨と作家たち』

シャープなレタリングが物語の内容に合ってます！



3年制2年 Tさん作『生成AIで映画を作ってみた』

キャッチコピーに納得と唸！

さりげなくクールなイラスト



3年制1年 匿名希望さん作『わすれなぐさ』

人物の表情がよく出てます。細部まで書き込んであつてすごい



3年制2年 Kさん作『読むだけで前向きになる』

帯に添えられたイラストです。もこもこウサギの表情にご注目

＼カウンター前で展示中／

同時開催

この本 ぜったい面白い!!
だって続編でたんだもん

図書館からのお知らせ

- 10/7(火)～10/16(木)閉館時間が18：50になります。グループ学習室は混雑しますので予約必須です（予約は一週間前からできます）。
- EMCのノートパソコンが新しくなります。6年ぶりリニューアル。

編集後記「四季の中でもっとも過ぎ去っていく感が強いのは夏だ」とラジオが言っていた。何もかも持ち去って なかったことにしてしまう、そんな夏がようやく去っていったー。(大塚)

万博も終わってしまうな…

